

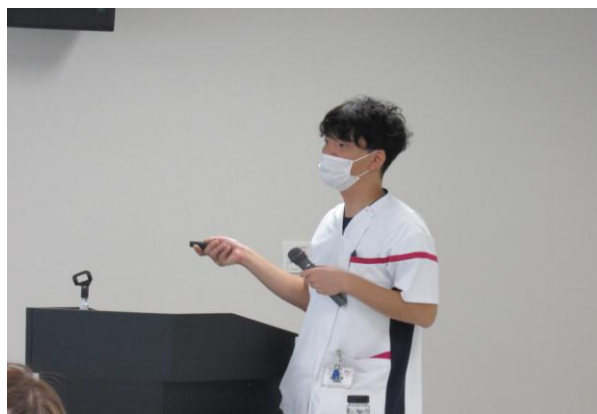
# 『 生命の危機的状況にある患者の看護 』

## 研修会実施報告

日時 : 令和5年11月15日(水) 08:30~12:30  
対象者 : ラダーレベルIを目指す者  
参加者数 : 21名  
目標 : 生命に危機的状況にある患者の病態変化を予測し、重篤化を予防できる知識と技術を学び、看護実践に活用することができる

### <講師の紹介>

集中ケア認定看護師  
2階A病棟  
主査



### <内容>



患者の生体内に関する情報を入手する「モニタリング」から研修が始まりました。心電図の基本、読むポイント、危険な不整脈、そしてバイタルサイン測定の重要性について学びました。その後、「人工呼吸器」「検査データの読み方」「輸液の基本」「凝固・線溶系」「カテコラミン」と急性期看護に必要な様々な分野について講義をして頂きました。

受講生からは「患者さんの状態を知るためにモニター管理の大切さやバイタルサイン測定の大切さを改めて学ぶことができた」「なぜこの患者にこの治療が必要か理解しながら看護していきたい」という意見がありました。

重篤化を予防するためには、正常値の理解だけでなく普段の患者状態を把握し病態を速やかに捉えることが大切になります。患者のベットサイドに行き、見て触れて状態を把握することが重要になると改めて学ぶことができました。今回の学びを今後の看護実践に活かすことを期待しています。